

各 位

会社名 株式会社高見沢サイバネティックス
代表者名 代表取締役社長 高見澤 和夫
(コード番号: 6424 東証スタンダード市場)

小田急電鉄株式会社様 2駅（狛江駅、経堂駅）で
当社腰高式ホームドアをご採用いただきました

株式会社高見沢サイバネティックス（本社：東京都中野区、代表取締役社長：高見澤 和夫）は、小田急電鉄株式会社様（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木 滋）より、新たに「狛江駅」「経堂駅」の2駅で、当社「腰高式ホームドア」（以下「ホームドア」）をご採用いただくことになりましたので、お知らせいたします。

<背景>

小田急電鉄様では安全対策の強化に取り組まれており、「2025年度 鉄道事業設備投資計画」（5月13日付）（※1）において、2032年度までに整備予定の駅名を公表されております。

2025年度中に計画されている5駅のうち、既に整備されている「豪徳寺駅」「千歳船橋駅」「祖師ヶ谷大蔵駅」「喜多見駅」では当社製品をご採用いただいております（※2）が、この度、残り1駅の「狛江駅」と2026年度整備予定の「経堂駅」におきましても、当社製品をご採用いただくことが新たに決定いたしました。

なお、小田急電鉄様には、これまで「新宿駅地下ホーム」「登戸駅」「中央林間駅」でも当社ホームドアをご採用いただいており、この度ご採用が決定した2駅を加えると計9駅になります。

<新たに追加された特長>

- (1) 当社独自の「スライド緊急脱出口」を装備しており、その技術を応用し乗務員乗降扉もスライド式を採用しました。
- (2) 乗務員や駅係員が、列車が定位置に停車したか、ホームドアが正常に動作しているか等の情報を確認する「表示機」をホームドア内に設けています。
- (3) 入線する車両の運行データ情報を頂き、そのデータに合わせた制御を行いホームドアの運用を行います。



【ご参考】千歳船橋駅



「表示機」

【関連プレスリリース】

(※1) 小田急電鉄様 プレスリリース (2025年5月13日)

「2025年度 鉄道事業設備投資計画

～「安全対策の強化」と「サービスの向上」に436億円！

鉄道事業の持続的な進化を目指します～」

<https://www.odakyu.jp/news/h3de7600000040tz-att/h3de7600000040u6.pdf>

(※2) 当社 プレスリリース (2025年6月2日)

「小田急電鉄株式会社様 3駅（千歳船橋駅、祖師ヶ谷大蔵駅、喜多見駅）で

当社腰高式ホームドアをご採用いただきました」

https://www.tacy.co.jp/file/information/6424_20250602.pdf

■高見沢サイバネティックスのホームドアの取組みについて

高見沢サイバネティックスでは、「緊急脱出口を装備した腰高式ホームドア」をはじめ、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの「昇降バー式ホーム柵」など、当社独自の機構を備えたホームドアを開発しております。

また、「地上完結型システム」の開発を進めるとともに、今後も外付けのセンサーによる回送列車判定システム、列車停止位置検知システム等のホームドア関連システムにも注力し、ホームドアシステム全体としてご提供できるよう邁進してまいります。

これまでに、利用者が多い都心のターミナル駅からケーブルカーの駅まで、様々な場所でご採用いただいております。今後も鉄道事業者様のご要望にお応えし、ホームドアシステム事業の拡大に取り組んでまいります。

【本報道に関するお問合わせ先】

株式会社高見沢サイバネティックス

・広報担当 https://www.tacy.co.jp/inquiry/agreement_ir/